



津波・土砂災害ハザードマップ（文珠）

※この地域に、指定された洪水・内水氾濫・高潮の浸水想定区域はありませんが、道路冠水などが発生しやすいので注意してください。

- 地震発生時にすべきこと
- ①まずは落ち着いて、自分の身を守りましょう。
 - ②山・川・海のそばからは、すぐに避難しましょう。
 - ③電気ブレーカーを切り、初期消火をしましょう。
 - ④余震に注意し、安全な場所で情報収集しましょう。



津波に対する避難等安全行動

◎沿岸部や河川沿いにいる人は、地震の揺れがおさまったら、ただちに高台や堅牢な高層階建物などへ避難しましょう。

◎ここなら安全と思わず、また速くへ避難するというよりは、より高い場所を目指して避難しましょう。

◎逃げ遅れないよう津波警報・注意報の発表を待たずにただちに避難し、安全な場所に避難してから情報収集しましょう。

◎津波は長時間繰り返します。波が引いても、津波警報・注意報が解除されるまで海岸・河川には近づかないようにしましょう。

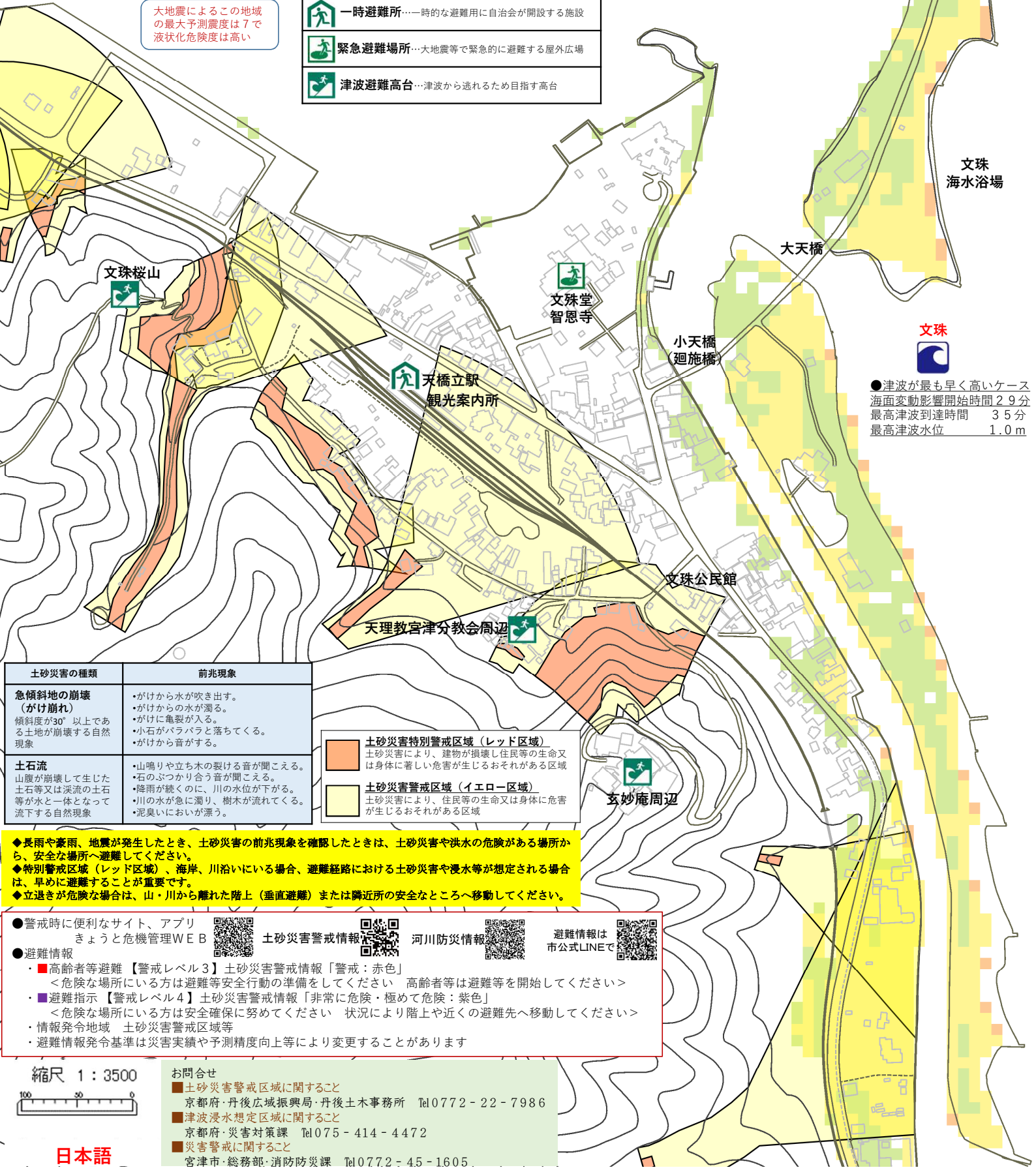
津波浸水想定

- 1.0～2.0m未満
- 0.3～1.0m未満
- 0.3m未満

【概況】0.3m未満でも人が歩くことが困難になり、1.0mを超えると全壊被害が始まります。

大地震によるこの地域の最大予測震度は7で液状化危険度は高い

- 一時避難所…時的な避難用に自治会が開設する施設
- 緊急避難場所…大地震等で緊急的に避難する屋外広場
- 津波避難高台…津波から逃れるため目指す高台



文珠

●津波が最も早く高いケース
海面変動影響開始時間 2.9分
最高津波到達時間 3.5分
最高津波水位 1.0m

| 土砂災害の種類 | 前兆現象 |
|--|---|
| 急傾斜地の崩壊（がけ崩れ） 傾斜度が30°以上である土地が崩壊する自然現象 | <ul style="list-style-type: none"> ・がけから水が吹き出す。 ・がけからの水が濁る。 ・がけに亀裂が入る。 ・小石がバラバラと落ちてくる。 ・がけから音がする。 |
| 土石流 山腹が崩壊して生じた土石等又は渓流の土石等が水と一体となって流下する自然現象 | <ul style="list-style-type: none"> ・山鳴りや立ち木の裂ける音が聞こえる。 ・石のぶつかり合う音が聞こえる。 ・降雨が続くのに、川の水位が下がる。 ・川の水が急に濁り、樹木が流れてくる。 ・泥臭いにおいが漂う。 |

土砂災害特別警戒区域（レッド区域）
土砂災害により、建物が損壊し住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

土砂災害警戒区域（イエロー区域）
土砂災害により、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域

- ◆長雨や豪雨、地震が発生したとき、土砂災害の前兆現象を確認したときは、土砂災害や洪水の危険がある場所から、安全な場所へ避難してください。
- ◆特別警戒区域（レッド区域）、海岸、川沿いにいる場合、避難経路における土砂災害や浸水等が想定される場合は、早めに避難することが重要です。
- ◆立退きが危険な場合は、山・川から離れた階上（垂直避難）または隣近所の安全なところへ移動してください。

●警戒時に便利なサイト、アプリ
きょうと危機管理WEB 土砂災害警戒情報 河川防災情報 避難情報は市公式LINEで

●避難情報

- ・**高齢者等避難【警戒レベル3】** 土砂災害警戒情報「警戒：赤色」
＜危険な場所にいる方は避難等安全行動の準備をしてください。高齢者等は避難等を開始してください＞
- ・**避難指示【警戒レベル4】** 土砂災害警戒情報「非常に危険・極めて危険：紫色」
＜危険な場所にいる方は安全確保に努めてください。状況により階上や近くへの避難先へ移動してください＞
- ・情報発令地域 土砂災害警戒区域等
- ・避難情報発令基準は災害実績や予測精度向上等により変更することがあります



お問合せ

- 土砂災害警戒区域に関すること
京都府・丹後広域振興局・丹後土木事務所 Tel0772-22-7986
- 津波浸水想定区域に関すること
京都府・災害対策課 Tel075-414-4472
- 災害警戒に関すること
宮津市・総務部・消防防災課 Tel0772-45-1605

日本語